

うちのイチ押し!

令和3年度よりスタート

防災出前講座

大阪市立総合生涯学習センター

自主防災組織、地域での集会、PTAの防災教育などにご利用下さい

費用 無料

(但し会場にかかる経費は申込団体で負担ください)

「南海トラフ巨大地震」は今後30年以内に発生する確率が70～80%と予想されています。ご自身やご家族、周りの方々の大切な命を守るためには、地震などの災害に対して日頃から備えることが重要です。

総合生涯学習センターでは、地域の防災力向上のための“防災出前講座”をみなさまの地域にお届けします! 地域での勉強会などに活用してみませんか。

● 募集期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

但し、申し込みについては、開催予定日の3か月前の末日までです

● 出前講座の内容

「OSAKA防災タイムアタック!」または「OSAKA防災タイムアタックー生きぬくチカラ編ー」を活用した防災講座の実施

● 実施日時

月～金曜日の午前10時～午後8時30分

(土曜、日曜、祝日についてはご相談ください)

実施時間は60分から120分が目安です(上限は120分です)

● 対象

原則として、大阪市内で活動する地域活動団体、市民団体、グループ、学校、公的団体等で、以下の要件を満たすグループ

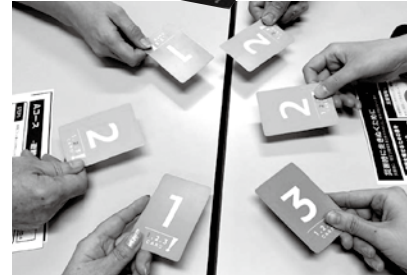
- ① 10名以上のグループで構成されていること(中学生以上)
- ② 会場の確保ができること
- ③ 受講後のアンケートに協力できること
- ④ 開催予定日の調整が可能なこと

● 実施場所

申込団体が確保する地域の会場



大阪市立総合生涯学習センター・神戸学院大学共同開発プログラム



主催・申込
問い合わせ

大阪市立総合生涯学習センター 企画推進課

TEL: 06-6345-5004 FAX: 06-6345-5019 E-mail: bousai@osakademanabu.com



おおさか

歴史探訪

161

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

大阪城天守閣90周年 — 市民の寄付による天守の復興と大阪城公園の開設 —

大阪城天守閣は、昭和6(1931)年の復興から今年で90周年を迎えます。

大阪城の初代天守は太閤豊臣秀吉が築いた大坂城の天守で、位置は現在とは異なる本丸の東北部にあったと推定されています。大坂の陣で落城した際に天守も焼失し、その後、徳川氏が大坂城を再築して2代目の天守が建てられます。この天守も寛文5(1665)年に落雷により焼失してしまい、その後、長らく天守が再建されることはありませんでした。昭和になって2代目天守の石垣上に3代目として復興されたのが現在の大阪城天守閣です。

復興計画が持ち上がったのは昭和3(1928)年のことで、^{せきほむ}關一市長により昭和天皇即位の御大典記念事業として、太閤秀吉の天守復興を中心とする公園化整備を市民の寄付により行うことが市会に提案されました。整備費の寄付が市民に呼びかけられると、半年足らずで7万件以上の寄付が集まり目標額に達しました。

大阪城一帯は陸軍用地であったため大手前公園がわずかに開設されているのみでしたが、御大典記念事業により、本丸・山丸を中心とする9.6ヘクタールが大阪城公園として市民に開かれました。

大阪城天守閣は、外観5層内部8階で、当時としてはめずらしい最新式の鉄骨鉄筋コンクリート造で建築されました。設計は大阪市土木局建築課が行い、旧福岡藩主黒田家の「大坂夏の陣図屏風」に描かれた豊臣氏天守を参考に設計されました。鉄骨鉄筋コンクリート造が採用されたのは、永久的なモニュメントとして長く残る建物としたいという思いから、耐震性・耐火性に優れた構造が選択されました。歴史史料にもとづく本格的な復興天守としては最も古く、その後の各地における天守復興の先駆となりました。

大阪城天守閣は平成7～9(1995～1997)年の大改修を経て、平成9年に国の登録有形文化財に登録されました。また復興にかかわる設計原図等の関係資料は、大阪市の有形文化財に指定されています。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



竣工から90周年を迎える大阪城天守閣